

碧南市指定文化財 新たに 5 件を指定

碧南市教育委員会は平成 24 年 4 月 1 日付けで市内の文化財 5 件（有形文化財 4 件、有形民俗文化財 1 件）を新たに碧南市指定文化財に指定しました。そこで、新しく指定された文化財をご紹介します。この指定で碧南市指定文化財は計 46 件になります。

1 新指定文化財一覧

種 類		名 称	員数	所 在 地	所有者
有形文化財	しょせき 書跡	ぼくしょうくじみょうごう 墨書六字名号	1 幅	碧南市吹上町 2 丁目 60 番地	栄願寺
有形文化財	しょせき 書跡	ぼくしょうくじみょうごう 墨書六字名号	1 幅		
有形文化財	しょせき 書跡	ぼくしょうくじみょうごう 墨書六字名号	1 幅		
有形文化財	絵画	けんぼんちやくしよく 絹本 着色 れんにょしょうにんえでん 蓮如上人 絵伝	4 幅		
有形民俗文化財		ながさかもくべえけ 永坂壱兵衛家 おにいたかみがた 鬼板昏形	2,003 点	碧南市松本町 28 番地	碧南市

2 指定理由の概要

(1) 墨書六字名号

室町時代の浄土真宗の僧である本願寺蓮如は、自筆の墨書名号を大量に書き与え、「御文」にその意味を示すという布教手段で多くの門徒を獲得した。そのため、蓮如筆六字名号は、蓮如の教化の浸透を示すように全国的に散見され、殊に草書体六字名号は、筆法に多くのタイプが見られる。栄願寺蔵の本品は、蓮如旧跡寺院として全国的にも知られている応仁寺に伝来する応仁 2 年（1468 年）の裏書を有する六字名号と同じタイプに属するものと考えられる。この地域に伝来するものとして、応仁寺伝来のものと同様に蓮如の布教の一端をうかがい知ることのできる貴重なものである。

(2) 墨書六字名号

蓮如筆墨書六字名号は、原則的に裏書が付されない。本品は、先に市指定文化財となった応仁寺蔵の裏書を付さない蓮如筆六字名号と同様の筆法である。応仁寺伝来の六字名号と同様に蓮如の布教の一端をうかがい知ることのできる貴重なものである。

(3) 墨書六字名号

室町時代の浄土真宗の僧である本願寺第九代実如は、蓮如の後継者でありその教化を継ぎ、教団発展の基礎を確立した。蓮如同様墨書名号を門徒に書き与えており、全国的に伝来するものが見られる。実如も蓮如同様の布教方法を実践したことが知られ、蓮如とほぼ同時代の名号として貴重である。

(4) 絹本着色蓮如上人絵伝

蓮如上人絵伝とは、室町時代の浄土真宗の僧である本願寺蓮如の伝記を連続する絵で示したものである。現在全国で140点以上確認されており、三河地域では30点を数える。このうちでも栄願寺蔵の本品は、描法も画題も優れており、中央の絵師により製作されたと考えられる優品である。地域の門徒により絵解きされた絵解き台本（『蓮如上人西端伝記』）も伝わり、全体の絵相を知ることができることは、重要で他例は多くない。さらに最も大きな特徴は、地元（西端油ヶ淵、応仁寺及び蓮如上人出迎え）の場面が第三幅に描かれていることである。西端の蓮如伝承が語り継がれ、絵画化されたことを示しており特筆すべきである。本品は、近世後半の製作と考えられるが、蓮如上人絵伝として全国的に重要な位置を占めるものである。

(5) 永坂奎兵衛家鬼板帋形

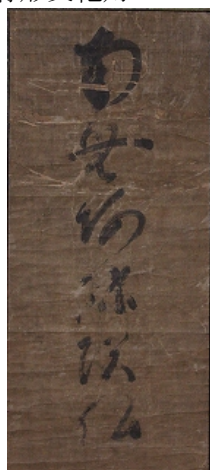
鬼板帋形とは、鬼瓦製作の型紙のことである。二代目永坂奎兵衛が京都で製瓦法を学んだのち、天明8年（1788年）に棚尾村において瓦生産を本格的に始めたこととされ、永坂奎兵衛（7代目）が昭和19年（1944年）に休業するまで、6代にわたり瓦を作り続けた。昭和61年（1986年）3月に永坂奎兵衛家から同家に伝わる各種文書等が碧南市に寄贈された。うち鬼板帋形は、2,003点ある。これまで鬼板帋形が単独で文化財に指定されている事例は見られないが、近年彫刻下絵、伊勢型紙等の製作過程に用いられる紙資料が注目されており、文化財指定を行っている自治体もある。西三河は、瓦生産の盛んな場所であり、地場産業の特徴を表した歴史資料である。帋形が多種にわたって大量に状態良く残されており、近世から近代にかけての鬼瓦の製作技術を解明する手掛かりとして貴重である。

3 新指定文化財一覧（画像） 別紙のとおり

4 参考資料 碧南市指定文化財一覧 別紙のとおり

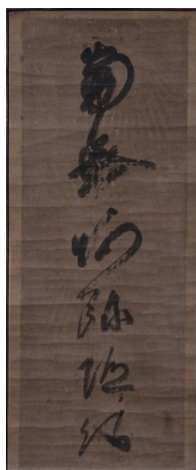
新指定文化財一覧

1 有形文化財



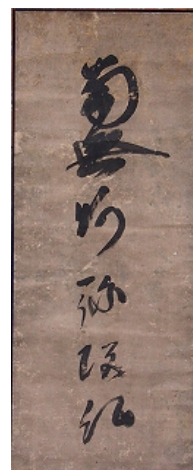
(1) ^{ぼくしよろくじみょうごう} 墨書六字名号 一幅

(栄願寺蔵) 室町時代
紙本墨書 86.4×37.8cm
蓮如筆



(2) ^{ぼくしよろくじみょうごう} 墨書六字名号 一幅

(栄願寺蔵) 室町時代
紙本墨書 91.1×37.2cm
蓮如筆



(3) ^{ぼくしよろくじみょうごう} 墨書六字名号 一幅

(栄願寺蔵) 室町時代
紙本墨書 90.5×36.5cm
実如筆



第一幅 125.4×76.7cm



第二幅 125.0×76.5cm



第三幅 125.0×76.5cm



第四幅 126.0×76.5cm

(4) ^{けんぼんちやくしよくれんにょしょうにん え だん} 絹本着色蓮如上人絵伝 四幅 (栄願寺蔵) 江戸時代

2 有形民俗文化財



^{つる} 蔓若葉足付 明治 37 年 (1894)
尾州半田町・中埜又左衛門邸



角張雲足付 明治 16 年 (1883)
藤沢山清浄光寺

(1) ^{ながさかもくべ え け おにいたかみがた} 永坂奎兵衛家鬼板帚形 2,003 点 (碧南市蔵) 江戸時代後期～昭和時代初期

(参考資料)

碧南市指定文化財件数

平成24年4月1日現在

種別			現在数	今回指定	計
有形文化財	建 造 物		1		1
	美術 工芸品	絵 画	2	1	3
		彫 刻	12		12
		工 芸 品	1		1
		書跡・典籍・古文書	4	3	7
		考古資料			0
		歴史資料	7		7
無形文化財	芸 能				0
	工芸技術		2		2
民俗文化財	有形民俗文化財		7	1	8
	無形民俗文化財		3		3
記念物	史 跡				0
	名 勝				0
	天然 記念物	動 物			0
		植 物	2		2
		地質鉱物			0
合計			41	5	46

その他碧南市内文化財件数

重要文化財（国指定） 3 件

県指定文化財 4 件

国登録文化財 1 件